

芽吹きの時期、中条でこんな動きがありました(^-)-☆

☆・30～50代(男性飲み会)

今の中条、未来の中条を語り会おうと40～50歳代の男性有志16名がやきもち家に集合、2時間予定を大幅に延長し意見交換を行いました。

「ここをこうすれば、中条に若者が増える」、など前向きで活発な意見交換となりました。これを出来ることから実行し、今後はより多くの若者男女が集合し定期的に意見交換しようとして約束しました。

この会の開催に感動したカサイ薬局社長から、多大なご支援と激励をいただきました。

(事務局)

☆・中条に入られた(概ね過去10年以内)方が一堂に会し意見交換会

中条地区に住まわれるようになって10年以内の17名に集まっていた日頃のご活躍状況や中条の魅力、ここが変だよ、など思い思いを語らう会が行われました

意見交換会場は、切久保の大内真さんのご厚意により実家をお借りしました

大内真さんの弟夫妻、滝澤静子さんも駆けつけ、みなさんを歓迎していただきました。意見交換では中条にきてよかった。なんで中条の人はこんなに親切なの自分と同じ境遇の若い人がこんなにいるとは知らなかった。今後も我々が集まれる会場が是非ほしい、などなど笑い涙の会となりました。帰り際には、庭に据えた蒸籠(せいろ)で炊き上げていただいた赤飯がお土産として参加者に振舞われました。

(企画者、支所 大日方孝二、住自協 黒岩秀美)

自分たちの地域は自分たちで守ろう!



☆・中条の景観魅力 棚田を保全する動きが始まりました。

中条の棚田がピンチを迎えています。

美しいのどかな棚田の景観が中条の顔ともいわれてきました

この景観を守ってきてくれた農家の方々も歳を重ねるとともに農作業が困難となっています。この状況に危機を感じた伊折在住の柳井さんご夫妻が立ち上がってくれました

心を一つにして棚田を守るための理解者を募集しています。

その内容は、ホームページ「むしくらの里」やFacebookでもご覧いただけます

パンフレットも用意しています。

(支所 大日方孝二)

春の火災予防



春は空気が乾燥し、火災の起こりやすい気象状況となります。田畑の準備等で野焼きをする場合、必ずバケツなど水を用意し、常に火の管理をしましょう。

(長野市消防団第6方面隊 中条ブロック)

～編集後記～

「おギャー」と生まれて早や7年。やっと小学校へ入学の歳に「法人化」1年生です。入学前は何かと忙しく、あれもこれも準備することが山のようにあって、まるで新米ママさんのような事務局です。

遅くなりましたが、お世話になった各区の区長さん、部長さん、本当にありがとうございました。

発行:中条地区住民自治協議会 E-mail:nakajyo@ngn.janis.or.jp

HP:http://www.Mushikura.info



中条地区住民自治協議会だより

長野市中条2549-2 電話 267-1020 (代)

平成29年3月24日 第23号



ジビエ肉処理加工施設の建設地が中条地区に決定

去る2月3日に、長野市いのしか対策課から、ジビエ肉処理加工施設の建設地に、中条地区が提案した牛首地籍(大平橋南西)が、決定されたとの通知がありました。

また、2月に公表された長野市の平成29年度予算(案)でもジビエ肉処理加工施設の整備費が盛り込まれており、新年度から施設の整備が始まります。

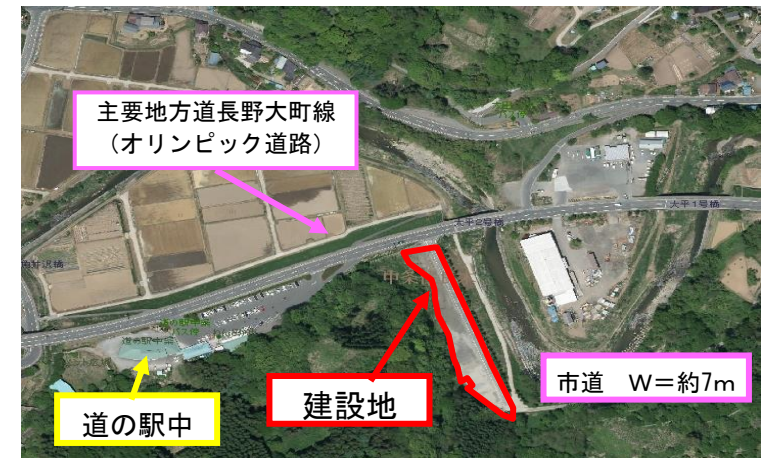
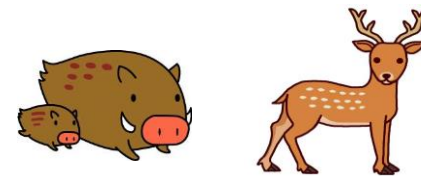
建設する施設は、市が運営する計画で市内西部を中心に年間600頭のシカといのししの食肉加工を処理する計画です。また捕獲から1時間以内の処理を実現するため、食肉加工処理車の導入も計画されています。

当面、長野市が施設の運営を行いますが、5年後は、住自協が指定管理を受託する方向で進めることとしています。

新年度は、施設の設計を進める予定で、中条地域でも建物の建設位置や建物の景観、稼働後の運営などを見据えて、よりよい施設となるように地域の意見を集約し、設計に反映させていく必要があります。

なお、新年度に新たに着任する「地域おこし協力隊」には、有害鳥獣対策並びにジビエ肉等を活用した地域振興に取り組んでいただく予定で人選を進めております。

新年度からNPO法人として活動を開始する住自協で、ふるさと中条を守り、伝え、残していくため、ジビエ肉処理加工施設を活用できるよう、取り組んでまいります。(住自協事務局)



NPO法人登記申請が認証になりました。

中条地区住民自治協議会は、平成28年12月14日付けで長野県へNPO法人の設立認申請していましたが、平成29年2月20日付けで設立が認証され、3月3日付で設立登記になりました。

今後は、来る4月22日の住自協総会で現行の住民自治協議会を解散し、「特定非営利活動法人 中条地区住民自治協議会」へ移行してまいります。

人口減少と高齢化で、大変厳しい状況のなか、ふるさと中条を維持していくため、地域住民による、よりいっそうの地域づくり活動が求められておりますが、ここで新たにNPO法人となることにより、社会的に認められる権限を確立し、地区外からも支援を受けながら地域の再生や活性化、地域の人口を増やす事業に取り組んで参りたいと存じます。

皆様の更なるご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

(会長 上條勇夫)

人権と福祉を考えるつどい 開催 2017:2月5日

2月5日(日) 84名の参加をいただき行われました。

3年前より人権の問題、福祉推進の課題を同日合わせて研修することになりました。

毎日の生活の中で関連性も多くよかったですと思っています

高齢化、核家族、生活環境等昔とは変わってきています。

でも、人の権利や人が幸せに暮らすことは大事です。認め合い、支え合い、助け合って向こう三軒両隣、どこでも、何時でも、誰れとでも、気兼ねなく声を掛け合える関係づくりができるよう毎日の生活の中で考えて行きたいと思いました。(副会長 和田)



千曲市で「ごちゃまぜカフェ」をオープン、NPO法人「Happy Spot club」代表の「高山さや佳」先生の講演会、「オレンジカフェ中条」の活動報告、小中学校の人権学習の展示も行いました。「『泣いてるの 私の元気 分けますよ』の標語に元気をいただきました。」(参加者：談)

勢子猟を行いました 2017:2月19日

2月19日(日)、中条の日下野地域で勢子猟を行いました。

勢子猟(巻狩り)とは、数人~数十人がグループになり、追い子が藪や林の中にいる害獣を追い出したところを射手が仕留める猟のことです。中条地区では例年この時期に有害鳥獣対策協議会、猟友会、自治会(区)が連携して勢子猟を行っています。

今年は各方面から42名が参加し、境の沢から横道地籍にかけて「深田沢」中心に勢子猟を行いました。午前8時30分頃から二手に分かれて入山。空き缶をたたいたり、バクチク花火等を鳴らしながら射手の待機している尾根へ野生獣を追いこんで行きました。今年は残雪が多く、動物の足跡をたどって山道を辿るのは大変なことでした。人の気配に気づき、急斜面を一気に駆け上りガードレールを跨いで走り抜ける鹿を見て、「中条にも鹿や猪が沢山いるんだ」と実感しました。

最終的に横道で雌鹿1頭を捕獲。年々増えていく野生獣による田畑への被害を少しでも減らし、安心して農作物を耕作できるようにするため、猟友会や有害鳥獣対策協議会の方たちに今後も活躍いただくよう、お願いしました。(地域振興部会)



芹田地区との交流会 2017:3月6日

当日、中条地区から、20数名の皆さんと共に、芹田地区住自協を訪問した。

芹田地区は長野駅東口の栗田地区から西は中御所、荒木、南は若里、川合新田、東は上千田までの広い範囲で、地域住人も2万8千人を超える中心市街地の住自協である。始めに、長野駅東口の再開発事業の経緯と現在の進捗状況等をスライドで説明を聞いた。

- ・ 同じ芹田地区といっても地域間の特性が大きく異なり、長野駅東口周辺の栗田地区ではマンション・アパートが急激に増えて、転居の若い住人は地域の交流が無く、地域活動への参加が悪く苦勞している。その点で中条の地区住民のふるさとを思う心、団結力はうらやましい、と話された。
- ・ 地域活動は高齢者中心と成っており、後継者不足に悩んでいる。選挙の投票率は30%台で推移しており(中条地区の70%台に比べて)関心が薄いようだ。
- ・ 坪単価40万の土地に家を作る負担は大きく、仕方ないから住居は郊外に移り、自宅の敷地は貸駐車場にする人が多く、住宅地が虫食い状態になってきている。
- ・ 同じ芹田と言っても、少し離れた地区との間における抱える課題が異なっている為、住自協の運営に難しさもある
- ・ 地域間交流で中条地区との交流は3年経過して、田植作業、稲刈り、さつま芋掘り、カブトムシ捕り体験等を子供たちは楽しみにしているの、今後もよろしくお願ひしたいとの声があった。

まとめ：我々はともすれば中条地区の問題・不便さを愚痴り、街場の生活に憧れて話すが、街場には街場の苦難や悩みがあり、そこから見れば中条ならではの良さ、住み易さが在る。他人の生活をうらやむのではなく、今の環境の中でいかに明るく、自分の生活を楽しむか！を強く感じた交流会でした。(大日方司朗)

意見交換会の後、新しい「長野市芸術館」の見学もしました。普段は見ることのできない舞台裏や、ステージ上から客席を眺めてきました。



第8回 文化芸能の集い 開催 2017:3月5日

去る3月5日、公民館・かがやき広場中条・住民自治協議会・芸術文化協会の各団体の共催を受け、また小学校・中学校の協力を得て、盛大に開催することができました。

ご参加いただきました皆様に感謝申し上げます。出演者は緊張のなかの発表、出展者の皆さんは自分の作品を大勢の方々に見ていただき、今後の励みにし、次回の発表に向けて頑張りましょう。

中条地区は、過疎高齢化が着実に進んでおりますが、参加された皆さんが、笑顔で楽しんでいただける集いが今後も続く事を願っています。(文化芸能の集い実行委員会会長 北澤初雄)



「ハーロー ナーレイ オア ブア ナニ ヨシコフラススタジオ」の皆さんのフラダンスアトラクションがあり、会場の男性陣の視線が暑かったです。